

2021年3月23日

出雲の国空き家テック 様

松江市長候補 吉儀けい子

質問状のご回答について

1. 空き家バンクの現状と今後について

開発優先のまちづくりから「人口減少社会」に見合ったまちづくりのための「都市計画」住宅政策が求められる中であって、「空き家バンク事業」は重要な取り組みであると考えます。より適切に機能するように市としての関与を積極的に強化する必要があります。

2. マイカーに依存する地域の交通アクセス面について

地域住民が、いつでもどこでも自由に、安全に移動することは、健康で文化的な最低限の生活を営むうえで欠かせないものです。里山・郊外周辺部の交通アクセスを公共インフラ（社会的基盤）として位置づけ、公的に支えるための事業運営の財源を確保し、市が主体的に関与する必要があります。

3. 中山間地域・里山地域の社会インフラの維持管理について

中心市街地への集約だけが推進され、中山間地域や里山地域が切り捨てられるようなことがあってはならないと考えています。里山・郊外周辺部の社会インフラの維持管理については、持続可能な地域経済社会の基盤であり、地域住民の計画づくりへの参加と合意形成のもとで、適切に対応していく必要があります。

4. 自治会（町内会）の運営と行政の関わりについて

自治会活動は、その地域に住む人が、よりよい環境のもとで気軽に付き合い、充実した生活ができるように、自主的かつ自発的に共同活動を行いながらまちづくりを進めていくことを目的としています。地域の人たちがお互いに話し合い、交流していくことができる場を提供し、民主的な会の運営を心がけていくことが必要であり、こうした考え方のもとで自治会活動が運営されるよう、市としても配慮すべきと考えます。